

オレンジ通信 vol.2

オレンジ通信作成の目的

地域共生社会の実現に向け、日本作業療法士協会では、認知症の人への作業療法の普及方法の展開を推進しています。認知症の当事者や家族が地域で暮らし続けるために生活行為の課題解決等、作業療法士の専門性を活かした支援が求められています。

当委員会では、士会会員向けに9月の世界アルツハイマーデー・月間に合わせて「オレンジ通信」を作成し、認知症支援活動の普及啓発を行なっています。今後も、会員の皆さまと一緒に認知症支援活動を広げてまいります。

活動紹介

家族会「つどい」への派遣

2023年度 上越地区 活動内容について

認知症家族会からの依頼を受け、2023年度より「つどい」に県士会から作業療法士の派遣を行っており、新潟地区・上越地区の2カ所に参加しました。

上越地区では、若年認知症の当事者・ご家族様に対して、認知症という病気への理解や地域社会の絆を深めることを目的として活動されています。共通のお悩みを言葉にし、経験を語り合うことで当事者・ご家族様へ個々の生活指導に携わらせていただきたいと思います。様々な意見やアイデアを自由に話し合い、チームあさってさんによる南京玉すだれ、笑いヨガ体験をさせていただきました。

胎内市「チームオレンジプラスたいない」の活動

チームオレンジは、地域の認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族への支援を行っています。認知症サポーターの養成や地域での支援ネットワーク構築を通じ、安心して暮らせる環境づくりを目指しています。

胎内市では、当事者の「やってみたい」の実現に向けて、地域住民との協力で「チームオレンジプラスたいない」を立ち上げ、活動をしています。

介護老人保健施設 やまぼうし の通所リハビリテーションを御利用している利用者様から「そば打ちをしたい」という想いに寄り添い、地域と繋がり、チームで連携を広げた結果、蕎麦打ち教室で実現することができました。

チームの仲間、パートナーとしてこれからも活動を続けていきます。

